

第 3 回代表者会議 議事録

2011 年 2 月 19 日（土）アクシス春日部 202 会議室

出席

小淵、武里、八木崎、立野、内牧、上沖、豊野、武里南、幸松、粕壁クラブ

（計 25 名）

（代表挨拶は省略）

1. 「子ども・子育て新システム」勉強会

講師：自治労連埼玉県本部 特別執行委員

※講演内容については別途資料参照。

< 質疑応答 >

Q：こうした重要な変更を行なう場合、通常は政府の諮問機関が作られ、民間の有識者、関係者などの意見も取り入れるのが通常。今回はそうした手順を踏んでいるのか？

A：これは民主党政権で突然出てきたものではなく、自公政権時代から議論されてきたこと。社会保障審議会の少子化問題部会で議論されてきた保育所問題の議論に、民主党政権に変わって「幼保一元化」が加わった（幼保一元化は民主党のマニフェスト）。特に幼稚園の団体にしてみれば寝耳に水で、到底賛成できるものではない。

Q：現在のシステムでも問題がたくさんあるのに、そもそもなぜこんな変更をしなければならないのか、理由が分からない。

A：国家の膨大な借金を減らしたいが、税収は増えない。そうすると、予算の中でお金がかかる社会保障、福祉で切り詰めるしかない。国庫補助（特定財源）から一括交付金にすることによって 2 割の経費削減になる（マジック？）。役所は金を出さずに民間企業に作らせ、運営させて、役所は認定作業と補助金の管理だけを行なう（保育にかかる費用は出さない）。それによって国や地方の支出を減らすというもの。国を担う子どもたちを育てる保育行政にお金をかけないで、本当に良いのか？ なぜ経済大国日本でそれが出来ないのか？

Q：幼稚園や保育園からも反対意見が出ているということですが、公立の保育所の先生たちから、あまり危機感共有や自助努力の様子が聞こえてこない。なぜなのか？

A：耳の痛い話。自治労連は公務員を中心とした労働団体であり、住民の暮らしを守るサービスをいかに充実させるかを考える義務がある。熱海の公立保育園では、夜 10 時までの保育をやっている。地域性から、夜まで働くお母さんが多いから。春日部においても、残念ながらまだ力が無いのかもしれないが、親からの訴えがあれば助けになる。みなさんの声を強く発することによって、労働組合の力もつけていただきたい。

Q：7 月にも反対署名を行ったが、今回の署名は前回のものと内容が違うのか？

A：前回の署名は反対署名。今回は「国会で法案を通さない」という署名で、前回とは違うもの。再度協力をお願いしたい

## 2. 情報交換&amp;意見交換

(八木崎)

毎年、要望や対市交渉があるが、前年にもあった要望があり、引継ぎはするものの、毎年最初から交渉しているような気がする。交渉を实らせるためには、係りが引き継がれる年度ごとにもっと過去の経過を踏まえてステップアップする必要があると思う。せっかく要望したことが、1回の「お断り」で終わってしまい、次の年もまた「最初から」になってしまっていて、同じレベルで前に進まないのでは、交渉する意味がないのではないかな。

(事務局)

毎年、同じ要望を出しているが、それに対し保育課からは「毎年同じ要望がでているが、昨年答えたのになぜまた出すのか」のような事を言われる。「大事な事だから要望するんです」と答えている。読めば要望交渉の経緯が分かるような説明文書を作成したい。各クラブの引継ぎに活用して欲しい。事前の経緯が分かることと、過去に別のクラブで実績があること（増設や設備の改善など）を知る事が、交渉する上で参考になる。情報を全てのクラブで共有することが大切。

(豊野)

今年度から、おやつ代のシステムが大きく変わった。反対したクラブもあったが「今後少しずつ改善していく」という事で、強行にシステム変更が行なわれた。しかしその後、この変更に関して総括するとか、改善するなどの動きがあったとは思えず、何となくうやむやにされているように思う。連絡会としてどう考えていくのか？

(事務局)

連絡会として総括することが出来ていない。テーマとして挙げていただき、どう変わったか、何を工夫しているかなど、全クラブで状況話し合って要望に生かしていけたらと思う。会議の回数が限られており、チャンスは少ないが、近い将来連絡会で取り上げて話し合いたい。

(事務局)

今日の勉強会で取り上げた「新システム」は、3年前に突然出てきた「放課後子どもプラン」とも良く似ていると思う。「放課後子ども教室」(文科省)と「放課後児童クラブ」(厚労省)の合体効率化が懸念された。川崎や東京の多くの区内では全児童対策事業との合体で学童保育が無くなってしまった。新システムが成立すれば、公立の学童保育は実質消えてしまう可能性が高い。トイレや定員問題などくらべて分かりづらいが、各クラブの父母会でも危機感を持つよう、話していただきたい。

(内牧)

先日社協に話に行った。パートさんも今年は研修をやるそうです(事務局注：2年前に「やります」と言っていたのにやっていたなかったのか?)。直接父母が社協に来て意見を言うのはかまわないとの事。

(事務局)

直接行って交渉はどんどんやって結構。ただ、「どのクラブが何を交渉した」という事を、他のクラブにも情報として共有する事が大切。

(内牧)

内牧は来年度から4年生以上は待機になってしまう。高学年の親が直接保育課に行ってお願ひしたが、夏休み中くらいは何とか考えると言っていた。増設は物理的に出来ないとの事。入れない子は「どろんこ」(事務局注：内牧にあるNPO経営の民間学童保育)に行ってくれと言われている。

(事務曲)

武里も最初は「増設は出来ない」と言われていた。出来ない事はある得ない。必要と思っていないだけ。公立学童で6年生まで入所できることが、春日部が唯一他市に勝っている事。父母の強い要望を伝えていくべき。「どろんこ」は民間学童保育であり、公設がいっぱいだからそちらに行ってくださいというのは筋違い。

(八木崎)

連絡会担当を引き継ぐ際に、会長から言葉でそのしくみについて細かく説明してもらい、初めて分かった。そういう説明ができる人が居ないクラブもあるかもしれないので、何か資料があったらよいのではないかと？

(事務局)

連絡会の構造(目的、仕組み、役職と役割、会議の目的と内容、など)を説明する資料を作成する。総会までに何とか作成したい。

(八木崎)

定例会で、父母会全体の話をする時はあまり意見も出ないが、その後行事などの話になると、意見も出るし雑談もできる。代表者会議も、少しざっくばらんに話し合いができる雰囲気を持っていければいいと思うが。

(事務局)

「代表者」という名前のせいもあり、「役員さんが出る会議」という認識もあるかも。誰でも出席は歓迎(特に今日の様な勉強会など)。ニュースで周知していく。役員の方は人数把握をお願いするが、あまり正確に把握できなくてもOKなのでわかる範囲で知らせて欲しい。事務局会議はざっくばらんに話している。

(立野)

事務局会議は定期的にやっている？ 事務局会議に参加出来るか？

(事務局)

参加はOK。開催が不定期なので、連絡(全クラブへの通知)は大変。参加したいと思われる方は事前にメールアドレスのご連絡を。メールを頂く際には、タイトルに「学童保育の・・・」「〇〇児童クラブの・・・」などを書いて欲しい。

以上